

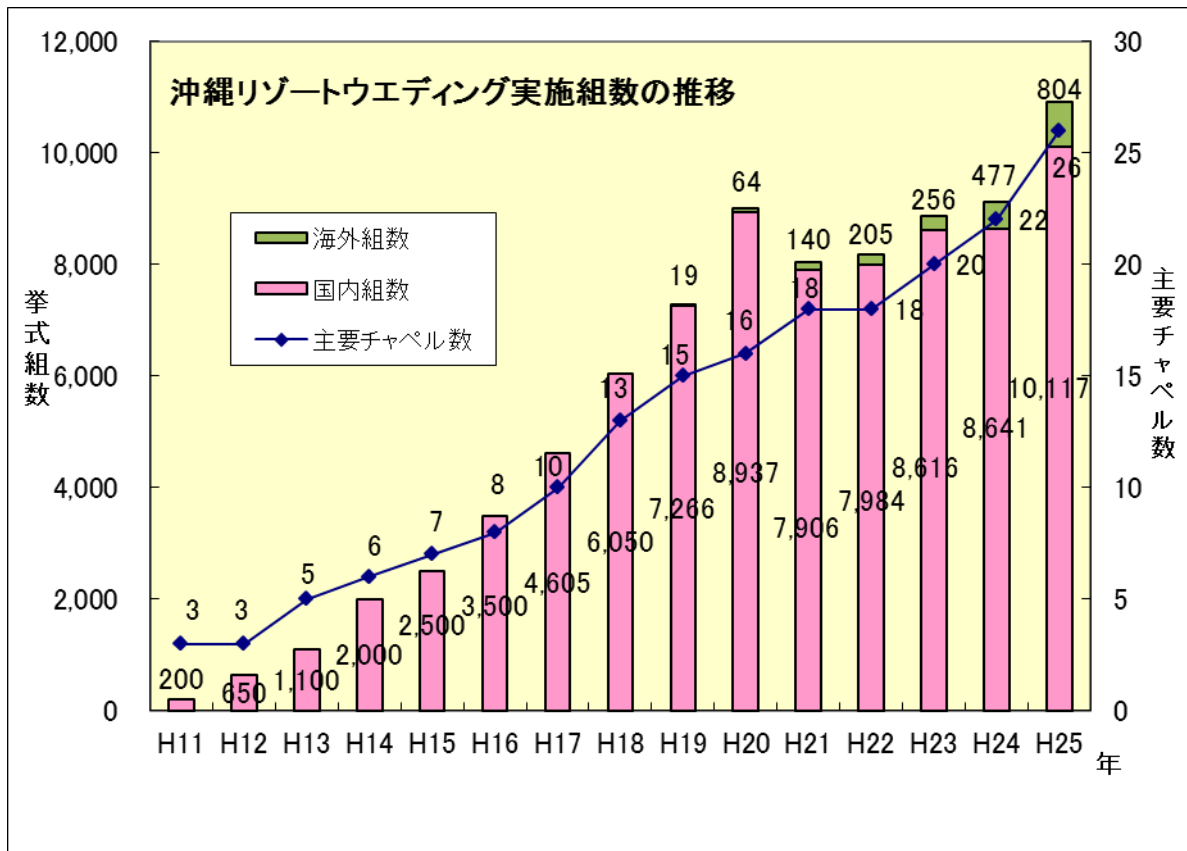


平成 26 年 4 月 21 日
 沖縄県観光振興課

平成 25 年【年間】 沖縄リゾートウエディング 10,921 組 <プレスリリース>

平成 25 年 年間「沖縄リゾートウエディング」の実施組数は、対前年比 119.8%(1,803 組増) の 10,921 組となりました。内訳は国内組数が対前年比 117.1% (1,476 組増) の 10,117 組、海外組数が対前年比 168.6% (327 組増) の 804 組となりましたことをご報告致します。

！！平成 25 年目標：10,500 組 達成！！



調査方法：沖縄リゾートウエディングを取り扱う県内関係企業 65 社を対象に調査を実施。このうち回答のあった 51 社の数値を集計

➤ 傾向

平成 25 年は、上半期に国内組数の伸び悩みにより全体として減少傾向を示したが、国内組数が下半期好調に推移したこと並びに海外組数が年間を通して前年同様大幅な伸びをみせたことにより初の 10,000 組を突破、全体で 10,921 組という結果となった。国内海外ともに、継続的にプロモーションしてきたことにより認知度が確実に向上してきているといえるとともに、特に海外組数が総組数に占める割合が増加中であり、今後も伸びしろが大きいと考えられる。

国内では、東京・大阪・愛知等の主要都府県からのカップルが特に増加しており、全体に占めるフォトウエディングの割合が増加中である。また挙式や写真にこだわりが強いお客様や、1 組当たりの参列者数の増加が見られるという。

一方海外は、香港だけでなく、台湾からの組数の増加率も大きかった（香港 417 組（対前年比 141.4%）、台湾 270 組（対前年比 219.5%））。香港からニーズがあるリーガルウエディング（海外で現地の法律に基づいて結婚すること）の実施組数も確実に増加しており、市町村役場に対して実施した調査によると、平成 25 年は 157 件のリーガルウエディングの届出があった。事業者からは、海外からの挙式・フォトウエディングに関する問い合わせが増えているという声もある。

➤ 平成 25 年度 沖縄県・（一財）沖縄観光コンベンションビューローの取り組み

（1）国内プロモーション

- ① 旅フェア等における観光PRと連動した沖縄リゾートウエディング広報宣伝活動（北海道・北陸・東京等）
- ② 沖縄リゾートウエディング協会主催ブライダルフェア等での広報宣伝活動（東京・大阪）
- ③ ブックカバー・バスラッピング等の広告媒体を活用したプロモーション（北海道・北陸）
- ④ パンフレット改訂

（2）海外プロモーション

- ① ブライダルフェア等での広報宣伝活動（香港・台湾・中国）
- ② 旅行社・メディア招聘ウエディングFAMツアー（台湾・中国・韓国）
- ③ OOH・雑誌を活用した広告プロモーション（香港・台湾）
- ④ パンフレット改訂・新規製作（繁体字版・簡体字版・韓国語版）

（3）受入体制整備・県内周知等

- ① 県・OCVB・県内関係企業による「沖縄リゾートウエディング連絡会」開催
- ② 市町村・県内関係企業を対象としたリーガルウエディング勉強会の開催
- ③ 沖縄リーガルウエディング受入BOOK製版
- ④ 11月22日（いい夫婦の日）を中心とした受入強化キャンペーンの実施
- ⑤ 沖縄リゾートウエディング協会との連携による事業実施（毎月22日の夫婦の日に空港での歓迎式典開催等）

➤ 一般社団法人 沖縄リゾートウェディング協会について

平成 23 年 4 月、沖縄リゾートウェディング地位向上と発展を目的に、県内事業者がこれまで各事業者で行っていた誘致活動など共同で行うためブライダル事業者を中心に「沖縄リゾートウェディング協会」が設立され、平成 25 年 8 月に正式に一般社団法人となる。

毎月 22 日を「沖縄リゾートウェディングの日」と定めカップルを那覇空港で迎えるセレモニーの開催、定例会や各委員会を立ち上げ課題の抽出や解決に向けての取り組みを行っている。現在の加入事業者は 40 社ほど。

連絡先：協会事務局（株式会社ビック沖縄内）
沖縄県那覇市泉崎 1-10-7 2 階
Tel 098-861-0881 / Fax098-869-1128
info@bic-okinawa.co.jp

➤ 平成 26 年目標組数

平成 26 年目標  13,000 組

国内市場においては、「リゾートウェディングエリア」としての更なる認知向上を図るためプロモーションを強化し、情報発信とともに都市部以外での市場開拓にも努めるものとする。また、香港、台湾を中心とした海外市場においてブライダルフェア等にあわせたプロモーション活動を行うとともに、受入体制の強化を図り、顧客満足度の向上に努める。

また、平成 26 年度新たな取り組みとして、雇用創出の基金による事業「地域人づくり事業」を活用した「世界水準の沖縄リゾートウェディング産業育成事業」を実施し、県内失業者を雇用・研修することにより、カメラマンやヘアメイクの高い技術や、特にインバウンドビジネス上のノウハウを備えたプランナーの育成を目指す。

沖縄リゾートウェディングとは・・・

「沖縄リゾートウェディング」とは、県外及び海外に在住する新郎新婦が、沖縄でウェディングを挙げることを目的に来県し行うウェディングのこと。

県では、県外及び海外に在住する新郎新婦が、沖縄でウェディングを挙げることを目的に来県し、新郎新婦及びその参列者が、挙式・披露宴で「感動に満ちた祝福の時間」を共有するとともに、多彩なアフターウェディング等で「思い出深い特別な日」を過ごすことを目的に、沖縄でウェディングを行うことを「沖縄リゾートウェディング」とします。

【問い合わせ】

沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課
担当：牧野

TEL：098-866-2764/FAX：098-866-2765

*** 平成25年 沖縄リゾートウエディングの特徴 ***

1. 月別挙式状況

- (1) トップシーズン：4月、10月－11月
- (2) ボトムシーズン：1月、8月

2. ウエディングスタイルの状況

最も人気の高いウエディングスタイルは、「チャペルウエディング」で、全体の約8割強を占めている。

このほか、沖縄の青い海や白い砂浜等をロケーションとした「フォトウエディング」が増加傾向にある。

3. 地域別の状況

関東地方からの申込が最も多く、全体の約4割を占める（関東38%、近畿24%、中部17%、その他21%）。

また、海外挙式組の半数を占める香港市場は前年同期比約1.5倍、続く台湾市場は前年同期比約2倍の挙式組数となり大幅に増加しており、海外実施組数全体に占める割合は、香港52%、台湾35%、中国7%、その他・不明6%。

4. リーガルウエディングの実施状況

香港から需要があり、香港客408組中157組が実施している（市町村調べ）。現在は、チャペルが所在する恩納村・国頭村・読谷村での手続きが集中しているが、平成26年は名護市、北谷町、糸満市、石垣市において手続きが予定されており、今後チャペル所在市町村を中心に拡大していくことが予想される。

※リーガルウエディングとは、海外で現地の法律に基づいて挙式をすることであり、国によって条件・形式が異なる。日本では、戸籍法に基づき婚姻届を市町村役場に届け出ることを指す。

5. 平均参加者数

平均参加者数は19名で、新郎新婦を合わせると一組あたり21名、約23万人の方がウエディングのため来県していると推計される。

$$10,921 \text{ 組} \times 21 \text{ 名 (新郎新婦 2 名 + 参列者 19 名)} = 229,341 \text{ 名} \\ \text{(前年比約 120\%)}$$

$$[\text{H24 年 } 9,118 \text{ 組} \times 21 \text{ 名 (新郎新婦 2 名 + 参列者 19 名)} = 191,478 \text{ 名}]$$

6. 挙式等に係る費用

挙式等に係る費用は、挙式・披露宴を行う場合には約128万円、挙式のみの場合には約40万円となっている。観光客一人あたり県内消費額は約6万7千円（※）であることから、ウエディング顧客の県内消費額は、少なくとも約197億円と推計される。（※平成24年度観光収入 沖縄県観光政策課調査）

$(10,921 \text{組} \times 40 \text{万円}) + (229,341 \text{名} \times 6 \text{万}7 \text{千円}) \div 197 \text{億円}$
(前年比約110%)

[H24年 (9,118組×55万円)+(191,478名×6万8千円)÷180億円]

7. 滞在日数

新郎新婦は3～4日間、参列者は2～3日間滞在する傾向にある。

[H24年 新郎新婦4日間、参列者2日間滞在]

8. 悪天候対策

挙式時の悪天候に対し、半数以上の会社が雨天・台風対策が有ると回答し、屋外から屋内への会場の変更、挙式日の変更等の対策を講じている。